

平成 29 年度（2017 年度） 事業計画案
（平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで）

公1 環境保全事業

1. ケニア農村（継続）
 - 1-①: カカメガ
 - 1-②: キスム
2. 琵琶湖生物多様性（継続）

公2 技術協力事業

3. フィリピン産業復興（継続）

公3 保健医療事業

- ー. 実施予定なし

公4 災害援助事業

4. 東日本大震災（継続）
5. シリア人道（継続）
6. ガザ人道（継続・終了年）

公5 調査・評価事業

7. 新規案件形成のための調査、終了事業の評価。

公6 広報啓発事業

8. 広報・啓発、人材育成（継続）

<略語>

N 連＝日本 NGO 連携無償資金協力（外務省）

N 補＝NGO 事業補助金（外務省）

JPF＝ジャパン・プラットフォーム

【公1 環境保全事業】

1	ケニアにおける水・衛生環境に配慮した総合村落開発支援 略称:ケニア農村(継続)
期間	1-①. N 連カカメガ: (実施中) 3年間の3年目 2016年11月13日～2017年11月12日 1-②. N 連キスム: (計画中) 3年間の1年目 2017年11月13日～2018年11月12日
1-①.	N 連カカメガ事業(実施中)
場所	ケニア共和国カカメガ郡ブシアンガラ村
事業内容	カカメガ郡ブシアンガラ村(約1600世帯・約8200人)において、井戸掘削による安全な水の提供、改良型かまど導入による燃料資源の維持管理、エコサントイレの導入による衛生改善と農業生産の向上、女性のエンパワメント等によって、アフリカの乾燥地域における総合的な村落開発のモデル構築を行う。(第4年度) 【コンポーネント】 (1) 農業生産性の向上のためのエコサントイレの建設 (2) 安全な水へのアクセスの確保 (3) 燃料資源の維持と使用量の削減 (4) 収入の向上に向けた農畜産物の生産と加工販売 (4) 女性の地位向上に向けたコミュニティ活動
1-②.	N 連キスム案件: (計画中)
場所	ケニア共和国キスム市バンダニ村及びコトゥール村
事業内容	【事業概要】 汚染が進むビクトリア湖の周辺でのエコサントイレ普及を目指し、カカメガ事業の後継事業としてキスム市において事業の実施に向け、現在、調査中。 【コンポーネント】 (1) エコサントイレ建設・エコサン肥料利用・普及 (2) 収入創出・マーケティング支援 (3) 女性の地位向上・かまど建設普及(有用樹木の植林を含む) (4) 「土のう」工法による生活道路の補修 (5) 汚染された井戸水の浄化及び生活水への利用 (6) 保健・衛生状況の改善
予算規模	平成29年度予算: 41,099,000円(1-① + 1-②)

2	琵琶湖周辺域における地域の生物多様性保全モデルの構築フェーズ 2 略称:琵琶湖生物多様性 (継続)
期間	2016年1月1日～2019年3月31日
場所	滋賀県東近江市中戸町及び妹町など
事業内容	<p>2013年度まで実施した滋賀県竜王町での成果に基づき、2014年度から滋賀県東近江市中戸町及び妹町において事業を開始。地域社会の生物多様性保全と農業モデル(有機飼料による養鶏、及びイチゴ、メロン、トマト等の有機栽培、これらの販売)の形成と人材育成(途上国からの人材を含む)を目指したモデルを構築する。</p> <p>【コンポーネント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 環境保全や生物多様性を守るための有機農業を普及するための基盤の整備 ② 都市の若者、途上国の人材を巻き込んだこれからの農業を支える人材育成 ③ 自立し継続運営できる人材ネットワークの構築
予算規模	平成 29 年度予算:9,892,000 円

【公2 技術協力事業】

3	フィリピン産業復興支援 略称:フィリピン産業復興(継続)
期間	2017年6月～2020年6月
場所	フィリピン共和国レイテ州カポオカン町
事業内容	<p>2013年の台風30号(ハイエン台風)によって損害を受けた住民の生計手段となる産業の復興を支援する。2017年1月に実施した現地調査を基に、情報通信技術(IT)を活用し農村等の産業振興のための開発モデルの構築を目指す事業を立案中。</p> <p>【コンポーネント】</p> <ul style="list-style-type: none"> (ア) IT 技術の投入と技術者の育成 (イ) 事業地に適した IT システムの開発と活用 (ウ) 換金作物の導入と加工技術の普及 (エ) 市場開拓支援 <p>また、N 連とあわせて、ココナッツやカカオなどの収入源に繋がる植林活動を通じての環境保全教育へ資する事業を「緑の募金」及び「洛南ロータリークラブ」へ申請予定。</p>
予算規模	平成 29 年度予算:42,900,000 円

【公3 保健医療事業】

実施なし

【公4 災害援助事業】

4 東日本大震災被災者支援(継続)	
期間	2011年3月～
場所	宮城県気仙沼市唐桑町
事業内容	NICCO 所有の陸上いけす施設「アルフルザ」をフィッシュマーケット 38 (FM38)に貸し出すことにより、被災した地域の零細漁師の収入を創出する。
予算規模	平成 29 年度予算:10,239,000 円

5 シリア人道支援(継続)	
期間	2012年11月～2018年3月
場所	ヨルダン・ハシェミテ王国 ザルカ県他
事業内容	<p>2012年より内戦の続くシリアの人道危機に対応して、65万人を超えるシリア難民が流入するヨルダンにて、生活物資配布、専門家によるメンタルヘルス等の人道支援を、シリア難民及び難民を受け入れているヨルダンの貧困層住民、計約12,000人に対して行う。(第6年度)</p> <p>【コンポーネント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①生活物資支援(食糧バウチャー配布) ②コミュニティスペースの提供 <ul style="list-style-type: none"> a) 子供向けプログラム(心理社会的ケア、スポーツセッション) b) エンパワメントプログラム(成人・青少年対象プログラム(刺繍、編み物、英語、PC教室) c) 啓発・交流講座(難民がヨルダンで生活するのに必要な情報提供、料理・石鹸、) ③メンタルヘルスケアの提供(カウンセリング)
予算規模	平成 29 年度予算:156,021,000 円

6 ガザ人道支援（継続）※最終年	
期間	3年間(2014年11月～2017年11月)※最終年
場所	パレスチナ自治政府 ガザ地区
事業内容	<p>2014年7月から9月に発生したイスラエル及びパレスチナ側武装勢力との戦闘により、死者1000名以上、避難民20万人以上の被害が出るに至った人道危機に対応して、農業復興や仮設住宅提供等の支援を行い、被害者の生活や経済の復興に寄与する。特に本年度は、第4期、第5期を通して、外務省やJICAとの共同で水の再処理施設の拡充を図る。(第4年度)</p> <p>【コンポーネント】</p> <p>■第4期事業(2016年6月～2017年5月)</p> <p>① 再処理施設の設置と農家の灌漑用水へのアクセス改善</p> <p>② 脱塩処理施設の設置を通じた子ども達への安全な飲み水の提供</p> <p>■第5期事業(2017年6月～2017年11月)</p> <p>① 再処理施設の設置と農家の灌漑用水へのアクセス改</p>
予算規模	平成29年度予算:93,967,000円

【公5 調査・評価事業】

8 調査・評価	
期間	通年
場所	日本国内、他海外
事業内容	アジア・アフリカにおける新たな開発支援の案件形成調査を実施する。また、災害等の人道的危機の発生時において、緊急調査を実施する。さらに、前年度までに終了した事業の報告と評価を実施する。
予算規模	平成29年度予算:3,729,000円

【公6 広報・啓発事業】

9 広報・啓発	
期間	通年
場所	日本国内
事業内容	<p>広く日本の市民社会に対して、当会の活動をはじめとする国際協力活動や環境保全活動に関する広報、啓発、人材育成を行うことで、これらの活動に対する関心を高め、理解を促進し、もって国際的な相互理解と平和の推進に寄与する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会誌制作発行 ・ウェブ、SNS更新 ・イベント開催、講演活動 ・支援者対応、企業営業 ・インターン研修
予算規模	平成29年度予算:4,901,000円